

# 技術・家庭科 家庭分野 学習指導案

期 日 令和 4 年 9 月 27 日 (火)  
 学 級 北上市立南中学校  
 1 年 D 組 28 名  
 会 場 被服室  
 授業者 高橋 ゆかり

- 1 題材名 持続可能な社会の実現に向けて、自分たちにできることを実践しよう！  
 〇目指せ！南中 R1 グランプリ〇 ～ リメイクタブレットバッグ製作 ～  
 B 衣食住の自立（5）生活を豊かにするための布を用いた製作

## 2 題材について

### (1) 生徒観

本校 1 年生 110 名を対象に行った実態調査では、「衣生活を豊かにすることとはどのような事だと思うか、という問いに「リサイクル」「譲」「大切に使う」等、「持続可能な社会の構築」に関する言葉がたくさん挙げられた。また、SDGs に関心がある生徒が 84%、SDGs を身近な問題として考えている生徒が 85% であることから、環境に対する意識が高く、自分の生活と社会とのつながりを感じており、生活の豊かさとは自分の生活が便利になることだけではない、と考えることができていると推測される。そして実際に、着なくなった衣服をどうしているかという問いには「譲る」という回答が最も多かった。また、「衣服を手放すきっかけ」の回答からも、自分の好みや流行にとらわれて行動する生徒は少ないことが分かった。しかし、その一方で「そのまま家のどこかにしまっている」や「ごみとして捨てる」という回答も半数あり、頭ではリサイクルやリメイクが大切だと思っても、衣服を最後まで活用するという行動まで至っていない。

そこで本題材を学習することで、生活の営みに係る見方・考え方を働かせよりよい生活の実現へ向け主体的に課題解決しようとする生徒の育成を図りたい。そして、持続可能な社会の実現に向け、自分にもできることがあることに気付かせるとともに、自分の生活の中から問題を見だし、解決しようとする力を身に付けさせたい。

### (2) 題材観

本題材は、「B 衣食住の自立」の（5）「生活を豊かにするための布を用いた製作」を受けて設定した。課題をもって、製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取り扱いに関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、資源や環境に配慮して製作計画を考え、製作を工夫することができるようにすることをねらいとしている。

現在は、衣服の大量廃棄による環境破壊、エネルギーロス、資源の活用が社会問題となっている。持続可能な社会の実現に向けて、消費者の一人一人が、自分の生活を振り返り、課題を見出し、解決しようとする必要がある、このことが真に豊かな生活につながっていく。

本題材は、家庭で「着られなくなった衣服」や「しまったままの衣服」に焦点を当て、「持続可能な社会の構築」の視点で、見方・考え方を働かせ、リメイクバックを製作する。リメイクにより新しい使用方法を見出し、自分が愛着を持って使用できる「タブレットバック」としてよみがえらせることで、自分ができることが SDGs の取り組みにつながっているという有用感や達成感を持たせ、社会に役立つ行動が身近にもあることに気付かせたい。

また、一人ひとり家庭から持参する布製品が違うので、今までの学びを生かし製作計画を立案させ、計画をよりよいものにするために仲間と交流する場面を設定する。作る喜びや楽しさを感じさせ、製作後に改めて生活を豊かにするにはどうしたことなのかについて、考えを深めたいようにしたい。



図1「衣生活を豊かにするとは」ワードクラウド

1	家族や親せき、知り合いに譲る	72
2	そのまま家のどこかにしまっている、おいたままにしている	47
3	ごみとして捨てる	46
4	使いやすい大きさに切って、掃除などの時に雑巾にして使う	38
5	リサイクルショップやネットなどで売る	30

表1「着られなくなった衣服をどうしているか」(複数回答)

1	サイズが合わなくなった	94
2	衣服の状態が悪くなった	56
3	新しい服が手に入った	33
4	デザインや色にあきた	12
5	流行遅れになった	10

表2「衣服を手放すきっかけは？」(複数回答)

1	思い出があるから	25
2	もったいない	21
3	いつか着たい、着るかもしれないから	16
4	どのように処分したらいいかわからない	7
5	何かに作り替えたい	6

表3「なぜしまったままになっている？」(複数回答)

(3) 研究主題との関連 (指導観)

① 問題を見出し、解決する題材のデザイン

本題材では、衣服の大量廃棄による環境破壊、エネルギーロスを「現実」ととらえ、持続可能な社会の実現を「理想」とすると、そのギャップを「問題」として考えることができる。例えば、消費者の大量消費が企業の大量生産につながっていること、廃棄に膨大なエネルギーが必要なこと、などが社会の問題として考えられる。題材を貫く問題を生徒自身が見出し自分事として考えられるように、ICTを効果的に使ったり、生徒の意識調査を利用したりし、生徒の気付きを大切にする。そして、社会問題と自分の生活とのかかわりの中から、「なぜ?」という疑問や「何とかしたい!」という意欲を引き出していくようにする。

また、問題解決のプロセスにおいては、生徒のアイデアを広げたり、考えを深めたりするために、思考の「拡散」と「収束」を重視する。製作計画を練り直す場面においては、仲間との意見交流を通して、アイデアを見出し、判断し、また新たな考えを生み出し、自分の作りたいデザインと機能面、製作時間との折り合いをつけながら絞り込むことができるようにする。

② 指導と評価の一体化を図る評価方法の工夫

・題材全体を通して、生徒の学びを適切に評価し、生徒の成長と授業改善につなげるために、本題材では、評価対象や評価方法を具体的に設定し、評価を行っていく。

ア「思考・判断・表現」の観点の評価方法例

表1 「問題を見出す力」の評価方法例 1/8

評価対象	衣生活における問題点
評価方法	これまでの既習事項を生かして+持続可能な社会の構築(見方・考え方)の視点から問題を見出している
評価項目	自分の生活を振り返り、問題を見出して、課題を設定することができる

	生徒の記述	読み取り方のポイント
「十分満足できる」状況 (A)	・よく考えず、その時に欲しい物を買って、着なくなっている服がたくさんあることに気付いた。捨てると資源の無駄になるので、自分のお気に入りだったキャラクターを生かして、タブレットバッグにリメイクさせて、活用していく。	衣服の購入などの既習事項と関連させたり、他の生徒のアドバイスを生かしたりして、「持続可能な社会の構築」の視点から問題を見出し課題を設定している。
「おおむね満足できる」状況 (B)	・しみを作っすぐ洗濯をしないので、汚れが落ちず、着なくなっている服があることに気付いた。今までは、すぐ捨てていたけど、リメイクしてまた使いたい。	「持続可能な社会の構築」の視点をふまえ、衣生活の現状から問題を見出し課題を設定し、その理由を「適切に」記述している。
「努力を要する」状況 (C)	衣生活に問題点に着目し、自分の課題を設定できるように声掛けなどをして支援する。	衣服の一生の中で、自分がどの場面で無駄にしていると思うか、具体例を挙げて示す。

イ「主体的に学習に取り組む態度」の観点の評価方法例

表1 「問題を見出し、解決していこうとする態度」の評価方法例 8/8

評価対象	「衣生活の課題解決において学んだこと」「学習前後の変化」「よりよい衣生活の実現に向けて大切に思うこと」
評価方法	「新たな課題を見付けている」+「家庭や地域で次の実践に取り組もうとしている」
評価項目	よりよい衣生活の実現に向けて、工夫し、実践しようとしている

	生徒の記述	読み取り方のポイント
「十分満足できる」状況 (A)	・衣服の廃棄の問題は自分たちの身近にある事に気付き、解決するために自分が実践できることがあると分かった。バッグ以外のリメイク方法も調べたい。着られなくなった衣服をすぐに捨てずに、リサイクルショップに出したり、雑巾に利用したりしたい。	家庭や地域での実践について、新たな課題を見つけるとともに、改善に向けた意欲だけでなく、これからの自分ができる活動について具体的に記述している
「おおむね満足できる」状況 (B)	・安い服の流行は良い点だけではない事がわかった。これからは値段だけで買うのではなく、本当に長く着られるか、ちゃんと考えてから買うようにしたい。	他の生徒の意見を参考に、家庭や地域での実践について、新たな課題を見つけるとともに、次の実践に取り組もうとする記述をしている。
「努力を要する」状況 (C)	これまでの学習を振り返る視点を提示し、これから自分が出来ることは何か考えられるよう声掛けなどの支援をする。	

### 3 題材の目標及び評価規準

#### (1) 題材の目標

- ・製作するものに適した材料や縫い方, 用具の安全な取り扱いについて理解するとともに, それらに係る技能を身に付ける。【知識及び技能】
- ・生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し, 解決策を構想し, 実践を評価・改善し, 考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。【思考力, 判断力, 表現力等】
- ・よりよい生活の実現に向けて, 生活を豊かにするための布を用いた製作について, 課題の解決に主体的に取り組んだり, 振り返って改善したりして, 生活を工夫し創造し, 実践しようとする。【学びに向かう力, 人間性等】

#### (2) 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
製作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに, 用具を安全に取り扱い, 製作が適切にできる。	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について, 問題を見いだして課題を設定し, 解決策を構想し, 実践を評価・改善し, 考察したことを論理的に表現するなどして, 課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて, 生活を豊かにするための布を用いた製作について, 課題の解決に主体的に取り組んだり, 振り返って改善したりして, 生活を工夫し創造し, 実践しようとしている。

### 4 指導と評価の計画 ( 第1学年8時間, 本時3/8 )

時間 指導 事項	学習活動	○：評価規準 と ◇：評価方法		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	○衣服の廃棄の現状を知り, 持続可能な社会を実現するために自分の出来ることを考える。 ○自分の生活を豊かにするための衣服等の再利用について, 問題を見だし, 課題を設定することができる		① 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見出して課題を設定している。 【ワークシート】	① 生活を豊かにするための布を用いた製作について, 課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 【ワークシート】
2	○持参した布製品を再利用したタブレットバックの製作計画を立てる。 ○用具を安全に取り扱い, キルティング布 (内袋) をミシンで縫い合わせる。	① 製作するものに適した材料や縫い方, 用具の安全な取り扱いについて理解しているとともに, 適切に製作ができる。【作品, ワークシート】	② 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について考え, 工夫している。【ワークシート】	② 生活を豊かにするための布を用いた製作について, 課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 【ワークシート】
3 本 時	○グループで計画を発表し合い, 視点を明確に検討し, 計画を見直し工夫することができる。			【ワークシート】
4 5 6 7	○用具を安全に取り扱い, 生活を豊かにするための布を用いた物を製作することができる。 ・製作計画に沿って製作する。 ・つまずいた時はタブレットで参考画像を確認する。 ・製作について振り返り, 製作計画表に記入する。	① 製作するものに適した材料や縫い方, 用具の安全な取り扱いについて理解しているとともに, 適切に製作ができる。 【作品, テスト】		③ よりよい生活の実現に向けて, 生活を豊かにするための布を用いた製作について工夫し, 創造し, 実践しようとしている。 【ワークシート】
8	○完成交流会をし合い, 評価・改善することができる。 ・グループ交流会 付箋を利用し, 仲間のよさを認め合う ・自分の製作について評価・改善する。 ・これからの衣生活の中で, 再利用について新たな課題をまとめる。		④ 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作についての課題解決に向けた一連の活動について, 考察したことを論理的に表現している。【ワークシート】 ③ 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について, 実践を評価したり, 改善したりして。 【ワークシート】	【行動観察】

5 本時について

- (1) 主題 自分が考えた製作計画をよりよいものにしよう
- (2) 指導目標 よりよい作品にするために自分の計画を客観的に見直し、工夫している。
- (3) 評価規準
  - ・仲間と意見交流を通して、製作計画を改善する、または根拠を明確にするなど、説明したり発表したりしている。【思考・判断・表現】
  - ・課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

(4) 指導及び評価の構想

生徒は、自宅から持参した布製品を用いて、リメイクバッグへの思いや願いを持って計画を立て、製作活動に入る。仲間と意見交流することで、思考の拡散と収束を繰り返す、自分の計画をよりよくしたり、根拠を持って説明できたりすることをねらいとする。

(5) 展開

段階	学習内容及び学習活動 ・予想される生徒の反応等	指導上の留意点及び評価 ・指導の留意点 ○ 評価
導入 5分	1 学習内容を確認する。 ・前時までの振り返りをする。 ・見本のタブレットバッグの工夫点を全体で共有する。  2 学習課題を設定する	・前時の計画書を掲示する。 ・話し合い活動をするねらいを確認する。
学習課題 リメイクタブレットバッグの製作計画をよりよいものにしよう！		
展開 40分	3 中間発表会をする ・自分の製作計画案を確認する。 ・レーダーチャートの5つの視点（環境、丈夫さ、デザイン、使いやすさ、時間）をもとに、〇〇なタブレットバッグにしたい！ことを伝える。 ・聞いている班員は、その人の「いいね！」「いいの？」と思ったポイントを付箋に書き、伝える。  4 全体で大事なポイントを確認する。 ・グループ代表が発表し、全体で交流する。 ・全体で確認後、グループで再検討をする。  5 製作計画の見直しの検討と製作計画を決定をする。 ・グループで出し合ったアイデアをもとに、どのように製作計画を見直したのか、製作計画を決定したのか、文章で表現する。	・発表する内容について確認する。  ・付箋を色分けし、ワークシートに貼る。  ・実際に裁断するときや縫い合わせするとき、困る場面を想定させ、助言する。  ・内袋（キルティング）を合わせて、大きさの確認をする。  ○生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について考え、工夫している。 【思考・判断・表現】 【ワークシート】 【行動観察】
	<記述例> 私は、自分の好きなキャラクターを生かしたバッグを作りたいと考えて、デザイン重視で裁断すればいいと考えていたけれど、わきの縫い目を生かして、布を無駄にしないように裁断すれば、環境にも貢献できると気がきました。そして、エプロンの紐を持ち手にしてエコも重視したい。	
	・グループで意見交流をする。 ・全体で共有する。	
終結 5分	6 本時を振り返る。  <記述例> 班のみんなと意見交流をすることで、自分では気づかないことを発見し、計画を見直すことができてよかった。製作するときも、環境の視点を忘れず、糸や布を無駄にしないように確認しながら取り組んでいきたい。	○生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 【ワークシート】
	7 次時の見通しを持つ。 ・外袋の製作に入ることを確認する。	

